

女口づく

Josui



私たちはサガン鳥栖を応援します

今村病院は、サッカーリーグ1部で戦う
『サガン鳥栖』のサポーターです。

Vol. 18
2015年
冬号



目次

2015年 ご挨拶	1
特集：耳鼻咽喉科	3
・アレルギーで何？	
・耳鼻咽喉科が「外来棟」に移転しました。	
イベント報告	5
インフォメーション	6
・短時間通所リハビリテーション開設	
・夜間透析を開始しました。ほか	
外来診察予定表、編集後記	7



医療法人社団 如水会
今村病院



<http://www.josuikai.or.jp/>
Email info@josuikai.or.jp

新年のごあいさつ



医療法人社団 如水会 今村病院
理事長 今村 一郎

明けましておめでとうございます。
旧年中は当院創立40周年を迎えた
新しい外来棟での診療を始動すること
が出来ました。
これも偏に皆さまのご支援とご指導の
賜物と心より御礼申し上げます。
本年も地域医療に貢献できますよう
鋭意努力いたす所存でございますので
何とぞ倍旧のご支援を賜りますよう
よろしくお願い申し上げます。



医療法人社団 如水会 今村病院
副理事長 山下 明子

あけましておめでとうございます。今
年もよろしくお願い申し上げます。
昨年は創立40周年、外来棟完成と
大きな節目の年でした。そして、大き
な変化の始まりの年でした。今年は、
皆さまにこの変化を実感して頂ける年に
なると思います。お陰様で患者数も手
術症例数も飛躍的に増えております。
長年利用して頂いている皆さまには、不都合に感じられる場面があるかも
しれません。昨年も、不十分な対応でご迷惑をおかけする事が多々ありま
した。

私達は皆さまの声に真摯に耳を傾
け、その都度良い方へ修正して参ります。
如水会今村病院は、「これから」
が地域医療の担い手として本領を発揮するときです。

ここ鳥栖で24時間365日高度な医
療を受ける事ができ、将来の健康的な
暮らしが確保できるよう健診センター
で病気を予防できる。そんな、安心感
のある暮らしを皆さんに提供します。羊
のような温かいぬくもりを皆さんにお届
けする2015年をめざします。



医療法人社団 如水会 今村病院
院長 平田 祐造

新年明けましておめでとうございます。
皆さまにおかれましては、つつがなく
新年をお迎えのこととお喜び申し上げ
ます。

昨年は地震や火山の噴火、異常
気象といった天災に想定外の対応を
迫られ、そして世界では貧困や宗教を
発端とする争いも多く、例年以上に不安定な一年でした。人類は新しいことを
追い求め続ける一方で、今まで善と思
っていたことが本当にそれでいいのかを改めて問われる時代になりました。

我々の生活も仕事も同じことが問わ
れているような気がします。どのような
時代になっても大事なことを忘れずに、
温故知新の精神で実直な思いに基づ
いた道標を探していくものです。

新年を迎えて、今村病院もますま
す地域の方のお役に立てる病院の力
を培っていくために、さらなる準備と覚
悟を持って進んで参りたいと思ってお
ります。

本年も職員一同、何卒宜しくお願
い申し上げます。



外科部長
岸川 圭嗣

幅広いがん診療、移植臓器移植診
療を行ってきました。内視鏡手術、肝胆
膵外科手術も得意分野です。

当院においては乳がん診療の確立、
トータルながん診療(診断・治療・終末
期医療)の充実を図りたいと思います。

■佐賀大学 医学部卒
■日本外科学会 専門医

新入職員紹介



IVR副センター長 循環器内科
比嘉 徹

2014年11月より今村病院に入職致
しました。私はこれまで循環器内科領
域の救急医療(狭心症や急性心筋梗
塞など)を中心に診療に関わって参りま
した。しかし日本の食生活に欧米型の
食生活が浸透した事で、動脈硬化が
引き起こす疾患は“血管病”として循環
器内科領域でより大きな問題となって
きております。そのため、最近は急性期
医療・予防医学的医療の菱面から積極
的な診療を行う様に心がけており、皆さ
まにより一層貢献できる様に努めたい
と考えております。今後とも宜しくお願
い致します。

■鹿児島大学 医学部卒
■日本内科学会 認定医
日本循環器学会 専門医
日本心血管インターベンション治療
学会 専門医 認定医



循環器内科/内科部長
堺 孝明

平成2年、福岡大学第二内科に入局し荒
川規矩男教授のもとで、高血圧症、循環器、
動脈硬化の臨床・研究に携わってきました。
その後、米国に留学した際、医学基礎研究
の傍ら米国MBA(経営学修士)を修得し、医
療経営・医療経済の分野の知識も習得して
きました。

帰国後、福岡大学心臓血管内科を起点
として、循環器の臨床・研究を継続してきま
した。また、九州大学医学部医療経営・管理学
講座においても医療経営・医療経済の分野
で教鞭をとっています。今後、社会保障費の
高騰により、国民皆保険制度の維持も重要
な課題となってきており、医療経済に取り組
む人材の育成も重要課題の一つと認識して
います。

今回、医療法人社団 今村病院とのご
縁で、循環器・内科医師として勤務すること
になりました。急性期に向けて医療を充実さ
せるため、医療・経営の両面から微力ながら
お手伝いさせて頂くことになりました。循環器
を中心に、予防的な側面からも地域への貢
献を考えております。

今後とも、宜しくお願い致します。
■医学博士、日本動脈硬化学会評議員
高血圧専門医
日本内科学会認定内科医、
動脈硬化専門医
日本医師会認定産業医
米国経営学修士(MBA)
文部科学省 科学研究費専門委員会委員



特集 耳鼻咽喉科



1 耳鼻咽喉科 外来のご紹介

今村病院耳鼻咽喉科は、薬師川脳神経外科の跡地を改装し、平成18年4月に新設されました。その後、約8年のあいだ薬師川館において耳鼻咽喉科外来の診療を行ってきましたが、平成26年の外来棟の完成にあわせて、耳鼻咽喉科外来も新しい外来棟へ移設されました。

新しい外来棟では、全ての科の診察室と検査部門の機能が集約されていますので、他科からの受診や検査室への移動、さらには入院病棟からの移動もスムーズとなりました。

新しい耳鼻咽喉科外来の特徴のいくつかをご紹介します。



①聴力検査室は車いすやベッドのままでも検査ができるよう、十分な大きさを確保しました。また、聴力の精密な測定や補聴器の適合を行うために必要な、高度の防音性能と精密機器も備えています。

②子供さんやご家族連れに、待ち時間をお有意義に過ごして頂けるよう、キッズルーム(談話室)を作りました。キッズルームは、耳鼻咽喉科の診察にかかわらず、どなたでもご利用頂けます。また、中待合室にはテレビや雑誌もご用意しています。



③診察室内は、明るい設計となっています。子供さんにとって、診察の恐怖心を取り除くよう、随所にマスコットを配置しています。



④外来での小手術にも対応できるよう、手術用顕微鏡や外科用照明、処置用ベッドも備えています。外来での対応が難しいものは、入院治療や全身麻酔による手術を行っています。

耳鼻咽喉科は頭頸部外科とも呼ばれており、みみ・はな・のどの病気だけでなく、あごから首の前の腫れやしこり等の診療も行います。また、めまいの診察や顔面神経麻痺、いびき・睡眠時無呼吸症候群の診断や治療、補聴器の試聴や購入相談まで耳鼻咽喉科外来で承っています。

これからも医療の質をさらに高めて、笑顔で地域一番の病院を目指してスタッフ一同頑張りますので、よろしくお願い致します。

2 アレルギーって何?

アレルギーとは?

ヒトの体は、体内に侵入した病原菌やウイルスなどの異物に対して、それに反応する「抗体(こうたい)」を作つて異物を排除する仕組みを持っています。この仕組みを「免疫」といいます。免疫は本来、体から異物を排除して感染症などから体を守る大切な仕組みです。しかし、この免疫が花粉など体に害のないものに対しても過剰に反応してしまうことがあります。これが「アレルギー」です。アレルギーの原因となる物質は「アレルゲン」と呼ばれます。花粉やほこり(ハウスダスト)、食物などの身近にあるさまざまなものがアレルゲンとなる可能性があります。スギ花粉症とは、スギ花粉がアレルゲンとなって、鼻炎や結膜炎などの様々な症状を引き起こすアレルギーの複合症状の総称です。

アレルギー性鼻炎の治療

くすりや手術などの治療で症状を緩和する対症療法と、アレルギーを起こしている免疫系に直接働きかけて治療する免疫療法に分けられます。

アレルゲンに対する免疫療法は、減感作療法とも呼ばれ、アレルギーの原因となる「アレルゲン」を少量づつ体内に投与し、体をアレルゲンに慣らしていくことでアレルギー症状を和らげます。この免疫療法は、アレルギーを治す事ができる可能性のある治療法といわれています。

アレルゲン免疫療法として、アレルゲンを含む治療薬を皮下に注射する「皮下免疫療法」は以前より行われていました。しかし皮下免疫療法では、注射であるために痛みを伴い、頻回の通院や病院での厳密な管理が必要でした。

一方、本年度からスギ花粉症に限り、スギ花粉アレルゲンを舌下に投与する「スギ花粉舌下免疫療法」が新たな治療法として保健適応となり、当院耳鼻咽喉科でも治療を実施することができるようになりました。

舌下免疫療法は舌下に治療薬を投与するため、皮下免疫療法のような痛みがなく、自宅で服用できる利点があります。しかし、皮下免疫療法と同様に長期の治療期間が必要なことや、服用量や服用方法、副作用に対する対応など、患者さま自身が治療に対して理解を深める必要

当院耳鼻咽喉科で、スギ花粉症に対する舌下免疫療法を開始しました。

のある治療法であります。

また、舌下免疫療法では、治療を受けることができる年齢に制限があり(12歳以上が適応)、現在治療中の病気の有無など、いくつか確認すべきこともありますので、下の欄のチェックリストを参考にしてみて下さい。

チェックリスト あてはまる項目に☑を入れてください。

- ① アレルギーの原因(アレルゲン)が、検査等でスギ花粉と特定されていること。
- ② スギ花粉舌下免疫療法を開始する時期は、スギ花粉が飛んでいない時期でなければなりません。
- ③ 新薬のため、発売(2014/10)から1年間は2週間に1回の通院が必要です。その後も1ヶ月に1回の通院が必要です。毎日舌下投与し、約2年間(3~5年を推奨)の通院が必要となります。根気よく治療と通院ができますか?
- ④ 根治する場合もありますが、効果のない方もいます。全員が根治する治療でないことを理解できますか?
- ⑤ アレルゲン免疫療法では、治療薬によりアレルギー反応を起こす可能性があります。ごくまれですが、アナフィラキシーという重い副作用が現れることもあります。アナフィラキシー等の重篤な副作用が起きる可能性があること、副作用等の対処法が十分理解できることが必要です。
- ⑥ 以下の場合はアレルゲン免疫療法を受けられない場合があります。



- 妊娠や授乳をされている方
- 高齢の方
- 重症の気管支喘息、心疾患、高血圧のある方
- 抜歯後などの口腔内の術後、口内に傷や炎症などがある方
- ステロイドや抗がん剤、β阻害薬使用など特定の薬を使用されている方
- 免疫不全、自己免疫疾患などの免疫系の病気がある方、など

スギ花粉症でお悩みの方で、舌下免疫療法に関心のある方は、是非当院耳鼻咽喉科にご相談下さい。
舌下免疫療法についてもっと詳しく知りたい方は下記のサイトをご覧下さい。
参照サイト:トリーさんのアレルゲン免疫療法ナビ
<http://www.torii-alg.jp/>

Event Report

平成26年12月13日(土)

グループホーム【かがやきの里 とどろき】
忘年会

年間行事の忘年会を開催し、入居者、ご家族、職員を交えて会食をしました。午後からは職員が余興を披露して、皆さま大変喜んで下さいました。



平成26年12月9日(火)



第25回健康教室を開催しました。

今回は『変形性膝関節症について』というテーマで、当院の副院長である整形外科医の熊谷 優が講師を務めました。参加して頂いた皆さんにわかりやすいよう、治療中の映像や実際に使用する治療器具を用いての講演で、大盛況のなか終わることができました。

大変寒い中、大勢の方にご参加頂きありがとうございました。

今後も健康教室を定期的に開催いたしますので、皆さまのご参加を職員一同お待ちしております。

平成26年11月22日(土)



第16回医療法人社団如水会医学会を開催しました。

昨年11月22日サンメッセ鳥栖にて第16回医療法人社団如水会医学会を開催致しました。

今回のテーマが、「今村病院新たなる出発」で開院40周年という節目の年に外来棟が完成し、「新しい今村病院」をキーワードに各部門から様々な内容の発表を行いました。

いよいよ、今村病院も急性期病院として本格的に動き出しました。今後とも地域医療に貢献していくたいと思います。

平成26年10月26日(日)



地域の方と薬師川の清掃活動を行いました。

10月26日(日)に行われました薬師川清掃活動に、当院の職員も地域活動の一環として参加しました。

地域住民の方と川の中、川の周辺のゴミ拾いや雑草の除去等の清掃活動を行いました。

数時間のうちに軽トラック数台分のゴミや雑草を集めました。

この活動を通して、地域の方々の善意と努力により川の環境が保たれているということを改めて実感しました。

Information

ニバスの停留所ができました。



鳥栖市ミニバス停留所が外来棟正面玄関前に設置されました。鳥栖地区循環線をご利用いただけます。運行日は月、水、金曜日となります。

新たに短時間通所リハビリテーションを開設しました。



医療機関で医療保険を適用できるリハビリテーション期間は限られています。そういった期限を過ぎた方でも介護保険を利用して病院での外来リハビリと同じような感覚でリハビリを行うことが出来る場所となっています。「短時間で集中してリハビリだけをしたい」と思っていらっしゃる方のご要望にお応え出来る様、リハビリに特化した新しい通所リハビリを行っています。

旧型の通所リハビリテーション(デイケア)とは違い、入浴・食事等のサービスはありませんが、理学療法士や作業療法士などによる個別訓練や自転車エルゴメーター・ルームランナーなどの自主トレーニングを用意しています。また、マッサージチェアや物理療法(電気治療・ホットパック)での身体ケアも主治医の指導のもと行っています。

介護される方にとっても、リハビリによる介護負担の軽減を図れるだけでなく、普段なかなか出来ない家事や趣味の時間をとるのに最適です。

ご利用のご案内

月～金(土・日・祝・年末年始はお休み)

- ①11:00～12:15
- ②13:30～14:45
- ③15:00～16:15



夜間透析を開始しました。

今村病院では2012年4月に腎臓内科・透析科を開設し、その後約2年半の鳥栖三養基地区の透析医療にお役に立てるよう施設整備や人材の育成を行ってまいりました。

さて、今回新たな取り組みとして、お仕事に従事されている透析患者さまを対象に夜間透析を開始しました。夜間透析とは昼間仕事をされた後夕方来院していただき、4時間半から5時間かけて透析療法を行い帰宅していただくシステムです。2014年12月から月・水・金で実施しております。ご利用いただければと考え、ご紹介・ご案内を申し上げます。

昨年、外来棟が完成し、最新設備の血管造影室を開設し、専門医の充実を図りました。透析療法の合併症として多い心血管合併症の緊急治療を要する方に対して、これまで久留米市の高次医療機関へ救急搬送していましたが、当院で迅速に対応できるようになりました。

今後とも患者さまとしっかりとふれあいを持ちながら、スタッフ一同研鑽を重ね技術的にも看護面でも「良い透析」を目指して頑張りたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

腎臓内科部長 河野 啓助

